

幼兒教育

第十九卷
第二二號

大正八年二月一日發行

米國に於ける
幼稚園可否論

東洋幼稚園長
岸邊 福雄

○研究して呉れるといふ

學者が欲しい

米國に於ける幼稚園教育は、實際に眞面目に研究されて居る。シカゴ大學にも幼稚園が附屬してあり、紐育のロンビア大學にも亦幼稚園が附屬してあると云ふ調子で、それ／＼専門の學者が興味を以て熱心に研究して居る。それゆゑに、幼兒教育が改良進歩されると共に、幼稚園の數が殊に近年は一年に數百位宛増加して、四十五年前に僅に四十二園であつたのが、千九百十五年即三年前に、已に九千四百八十六に達して居る。我國では

幼稚園が創設せられてから四十餘年に達するが、今日にて其數一千内外である。それで子供を不自然に陥らしむるとか、最初の成績は良好だが、終末に至ると不良だなどと冷評する人が時々あるが、さりとて幼兒教育の爲に熱血を注いで呉れる學者のないのは誠に残念に思ふ。

○バドラ博士の四問題

茲に紐育ロンビア大學總長バドラ博士が、幼稚園教育の利害について解決の材料にとて、實際家に發した四つの問題を左に擧げる。

一、小學一年生を幾年間教へしか。

二、幼稚園を経て入學せし一年生が、全級の幾割ありしか。

三、幼稚園より入學せし一年生に對する感想如何。

四、幼稚園教育の効果を認めし要點は何處か。

以上の四個の問題に對して、それ／＼眞面目に回答を與へた小學教師の報告を次に掲げる。

一年二月間一年生を受持つた教師

自分が受持つた一年生は、全級の五十パーセントは幼稚園を経て入學して居た。其兒童達は、教師の命令に早速服従しない傾向がある。尙手技中に雑談をする癖がある。併し他の兒童よりも、何事についても了解する事が早いが、其の作品については、他の兒童と左程優れて居るやうにも見えない。

二年間一年生を受持つた教師

(甲)

自分の受持つた一年生中には、幼稚園を経た兒童が二十八パーセントあつた。そして、著しく目に映じたのは、觀察力の精密なる事であつた。尙、圖繪、粘土細工の如き手技が巧妙であるのみならず、繁雜なる仕事を整理するに機敏である。唯だ中には生徒間に内訌の種を蒔くやうなこともあり又、作品を互に見合つて品評し過ぎるやうな事も見た。要するに、他の兒童が幼稚園教育を受けたものよりも優れたとも感じないが、幼稚園教育を受けた兒童が、新思想を受けるときに、他の兒童より勝れたとも思へなかつた。

(乙)

私が受持つた初年は幼稚園に通つた兒童が百分の七十二であつたが、二年目には百分の七十四あつた。幼稚園から來た兒童は、觀察する事が敏捷で且つ正確である。其思想は組織的である爲に、表示する場合に於て口頭でも筆頭でも又手工でも矢

張り組織的である。倫理學の立場から見れば、幼稚園より來た兒童は、他の兒童よりも訓練されて優秀である。尙幼兒の人格を認めて名譽心を適度に刺激して、絶えず喜悅の感に充滿せしめられて居る。慥に神が彼を成さんと欲するものに近付いて居る感がする。

(丙)

尙二年餘り教へた教師の報告によると、去年は全部幼稚園を経て來たが、本年は僅々百分の五のみある級を受持つた。

幼稚園教育を受けたものは、勤勉で趣味に富んで居る。尙觀察力が強い。そして熱心で想像力も豊富であり、禮儀も正しい。且つ課業については數學、國語、朗讀方、圖畫、手工が大なる素養を有して居る爲に、進歩が迅速で、仕上げが綺麗である。

四年間二年を受持つた教師

最初一年二年は百分の五十は幼稚園を経た兒童であつたが、後の三年目四年目は百分の十五であつた。幼稚園教育を受けた兒童は、自發活動に當んで居て總て創作的である。又學校生活即ち群衆生活と慣れて居る。總じて物事を考へる事が自覺せしめられ、尙且つ慣れて居る。他の兒童が學校生活に慣れるまでには、幼稚園教育を受けた兒童は已に學習の緒に付く。其學習を始めると、已に仕事の仕方を覚えて居て、手の用ゐ方、器具の取扱ひ方などを練習して居る爲に、何仕事に向つても好良なる基礎を有して居て、實に時間の半分を以て仕事を正確に完了し得る。

五年間一年生を受持つた教師

毎年幼稚園を経た兒童が百分の八十あつた。他の兒童は惜しい事には、學校に來るまでに時間を空費して居る。然るに、幼稚園教育を受けた兒童は、學校教育を受ける前時間を有効に使用した

のである。其習慣の爲に、何か仕事をするに熱望して居る。又、教師より要求せらるゝ事に向つて仕遂げ得ると云ふ自信を以て始め、實際に困難に打ち勝つ丈の忍耐力がある。其仕事の仕方は清潔で優美できちんと整頓して居る。注意力は強く、創作力は大に發達して居ると同時に、遊戯、談話に就きて世の中の知識を多量に有して居て、新に授けらるゝ仕事殊に讀方、圖繪、朗讀等に非常に助けとなる。尙又、數の觀念が明瞭であると共に、文字の書き方なども記憶が早く、且つ美を愛し美を鑑賞する力が大である。總じて一年生の時代は、時間の點に於て優逸で成績も亦優良である。

六年間一年生を受持つた教師

(甲)

年々幼稚園を経た兒童が百分の三十あつた。幼稚園教育を受けた兒童は、仕事に興味を持つ、それ

故に勇んで着手する。他の兒童は如何になすべきかを知らざるを以て大に躊躇する。又幼稚園教育を受けた兒童は、鉛筆の使用法を熟知する爲に、短時間の稽古にて書く事を覺える。一年生の間に著しき進歩を示して、學年の末頃には、もはや二年生の仕事をもなすに至つた。自分は中學校以上の學科の進歩をも調査するに趣味を有して居た處から、絶えず幼稚園出身の兒童の成績を注意して居る結果、中學校以上の學績が概して優良あるのみならず、一級飛びに進級したのも見た位である。

(乙)

年々三十五パーセント内外の幼稚園教育を受けた兒童の學級を受持つた。他の兒童に比較すると感覺が鋭敏で、想像力、記憶力、思考力等が著しく發達して居る。之が爲に、表情力も豊にて快活なる氣分を教室にて發露して、無雅氣で可愛らしい。又人に對して助力を與ふると云ふ友情に富ん

で居る。小學にての進歩は、多年の訓練の爲に、他の兒童よりも遙に著しく、手技の作品も亦上品に出来る。

十五年間一年生を受持つた教師

全級の半數が幼稚園を経た兒童の學級を受持つて來た。そして十五年間と云ふ長い間の經驗によると、幼稚園教育を受けた兒童は、手の筋肉が非常に訓練されて居る爲に、文字を書いたり、紙を切つたり、折つたりする手藝が巧妙である。此の手能の訓練が、やがて智能の發達を助けて、毎に新らしき思想を得ん事に注意して居る状が見える。又、色彩、形體等の觀察力が訓練されて居る點より、文字の形、言葉の形を容易に了解して正確に迅速に記憶する。又、耳の練習を重ねて居る爲に、教師の命令が低聲にても聞きとり得て、敏速に其指揮命令通りに服従する。

數學に於ても他の兒童よりも利益の多い事を認

める。萬事了解する事と、思考する事と、鑑識力とが早くて正確だ。此點は幼稚園教育を受けない兒童よりも著しい相異を認める。要するに幼稚園教育を受けた兒童は、知識の量が多いと云ふよりも質が善く、尙散漫に流れたる輕薄なるものでなくして、内容が豊富にして充實して居る。

三十二年間一年生を受持つた教師

此の長い年數の間毎年一年生のみ受持つた。其間、或年は幼稚園を経て入學した兒童が百分の四十の事もあり、或は六十即ち半數以上の事もあつた。平均全級の半數であつたが、他の兒童に比較すると、觀察力が訓練され、手能が訓練され、數、形、色、音樂等に對する知識と趣味が正確に進歩して居るのみならず、更に克己心が教訓されて居る爲に、注意力を持続する時間が長い。それ故に、一年生の進歩は著しく優良の成績を示す。

○御互様に研究

以上通讀すると、いづれも幼稚園教授を有効と認めて居る。元より此の報告書は、幼稚園教育を有害と論評した分を、バドラ博士が打放つて、幼稚園賛成論のみを編輯したのでない事は明瞭である。して見ると、米國に於ては、幼稚園教育を或は無用だとか、或は有害だと論ずる人はいないやうである。それのみか、寧ろ學校系統の中に入れるが善いと論じもし研究もして、終に其説を採用して居るセントルイス地方さへある。然るに日本では學者達の意見よりも、寧ろ兒童教育の實際家から論難されて居るのは如何なる譯か分らない。職務上幼兒教育に従事して居るものは、一層奮勵努力して研究に研究を重ね、改良に改良を加へて、米國の幼稚園教育が小學校の教員より、曠賞されるまでに到達したいものである。

○机邊より (二)

|| ジャン、クリストフの中から ||

……さて、彼(ジャン、クリストフ)は兩手で兩足を握つて、地の上に坐つてゐる。彼は靴ふきを舟になし、瓦の床を河にして居る。毛氈の上に乗つたものは溺れたもの。けれ共、誰も這處事に氣をつけないで室に這入つて來るから、彼は苛々する。遂には、お母さんの裾をとらへつて、「母ちゃん、こゝ、河よ、橋をお渡り。」と云ふ。橋とは煉瓦の間の穴の一行を云ふのだ。お母さんは耳も傾けずに行つて仕舞ふ、彼は、戯曲家が筆をとつて居る時、人がドチャガチャ云ふのを怒る様に叱り出した。暫くすると、最早、そんな事は考へない、床は、早、海ではない。彼は其の上に手足をひろげて寝てゐる、瓦に頭をおさへつけ、拇指を喰へ、目ダレを垂らしながら、自作の歌をウウッーを歌つて居る、そして、瓦の間に寝そべつて何か考へて居る、並んだ瓦は顔の様、小さな穴がだん／＼大きくなつて遂には谷になり、其の邊が山になる、一匹の百足が、はつて居る、それが象の様に大きい。どんな危険な事があつても、子供は平氣なものである。——(66頁へ)